



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは
こうへい
山田耕平
です

2023.12.7 No.498

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

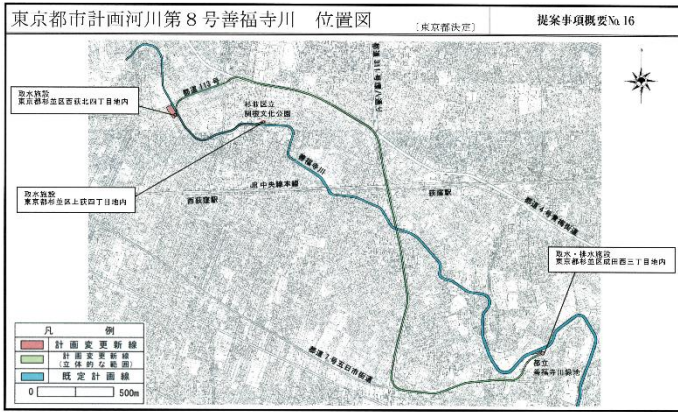
http://yamadakohei.jp

右QRコードを
ご活用下さい



杉並区議会第4回定例会で一般質問

善福寺川水害対策は住民合意に基づく計画を



東京都市計画河川第8号善福寺川 位置図 (東京都決定) 提案事項概要No.16

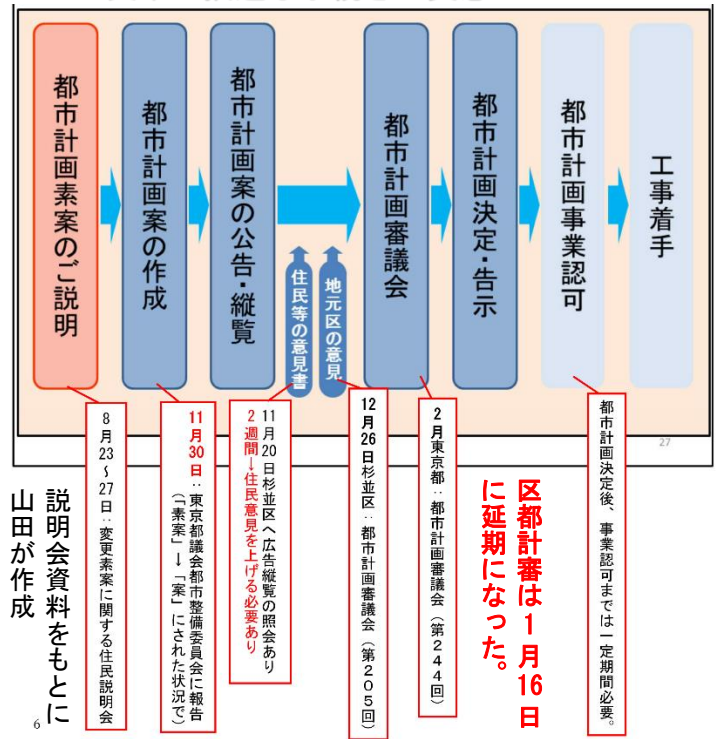
第4回定例会で善福寺川の water 対策として検討が進められている「東京都市計画河川第8号善福寺川の変更素案」について、一般質問しました。

わずか3カ月で素案から案へ 拙速な計画化は許されない

本年8月下旬、(仮称)善福寺川上流調節池に関する住民説明会が開催されました。変更素案では、善福寺川の water 対策のために、善福寺川上流地域に雨水を貯める地下調節池を整備することが示されました。地下調節池は、原寺分橋付近、区立関根文化公園、善福寺川緑地の3カ所と、それらを繋ぐ河川地下、女子大通りから青梅街道、環状8号線、五日市街道といった道路の地下にまたがる大規模なものとなります。同計画は近隣住民の生活や公園利用者への影響も甚大です。(全体は左図・各地の影響は裏面。都議会資料等を基に山田作成)

一方、住民への情報提供は極めて不十分な状況です。さらに、8月下旬に変更素案が示され、僅か3カ月後の11月30日には都議会都市整備委員会に「素案」が「案」に格上げされることになり、拙速な進め方に対する懸念の声も広がっています。

異常に拙速な手続きの実態について



住民の立場で主体的に対応を

杉並区が基礎自治体として、地域主権に基づき主体的に対応することが求めたところ、担当部長は「地元自治体として、地域住民に寄り添った丁寧な説明や必要な情報の提供をこれまで以上に都へ求める」と答弁しました。

一方、同時期に都は来年2月に東京都市計画審議会を開催する方針を決め、関係者への資料や情報提供を始めています。住民に情報を公表しないまま計画決定を拙速に進めることは問題です。※今後想定されるスケジュールは右図の通り。

表面続き 「変更素案」による善福寺川上流の各貯留池の状況

■原寺分橋周辺で都市計画変更素案により、影響を受ける範囲について

下流直下に善福寺川の貴重な湧水（2カ所の内、1カ所）

原寺部橋の下には善福寺川の湧水があり、数少ない貴重な湧水となっている。シールド工法や地下調節池による湧水枯れの影響も懸念されている。

杉並区として、原寺分橋付近の湧水は、善福寺川の水源の一部として貴重なものと認識しており、素案では、都市計画を新たに定める範囲にあるため、都へ配慮するよう求めている。

東京都は、本工事は法や都条例上の環境影響評価の対象とはなっておらず、現況の地質、地下水、交通量、樹木など環境面に関する調査を実施し、現状の把握に努める、としている。



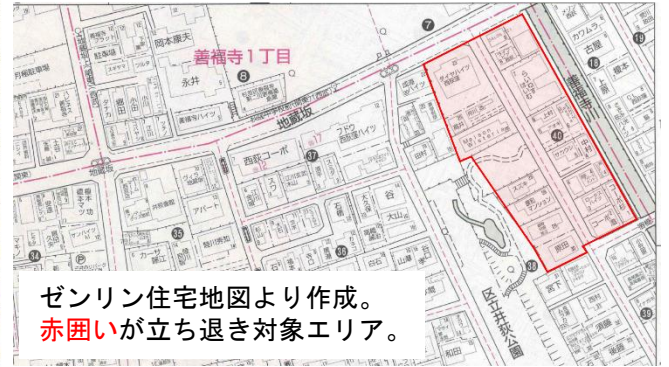
写真は、日本地下水学会より 2018 年 4 月 30 日



原寺分橋付近で20軒程度が立ち退き



第244回都市計画審議会資料より。



■関根文化公園・善福寺川緑地の両公園の状況について

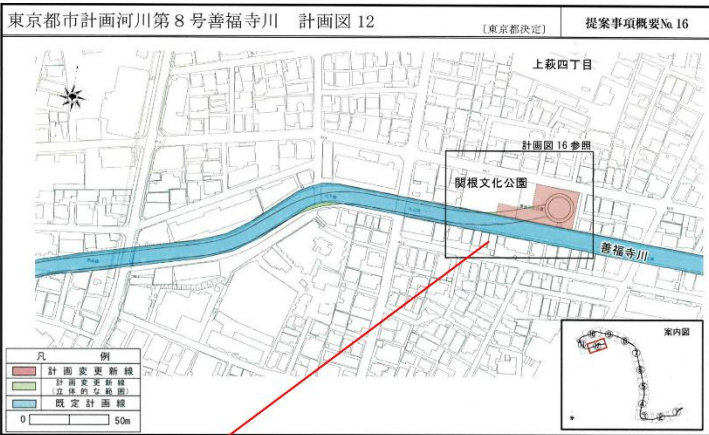
工事期間中の長期にわたり計画予定地の公園使用が出来ない。立て坑と共に、貯留施設の管理棟が設置されるため、恒久的に使用が制限されることになる。公園用地には多くの樹木があり、貯留池となることで、ほぼ樹木が伐採されることになる。

関根文化公園の半分近くが使用できず

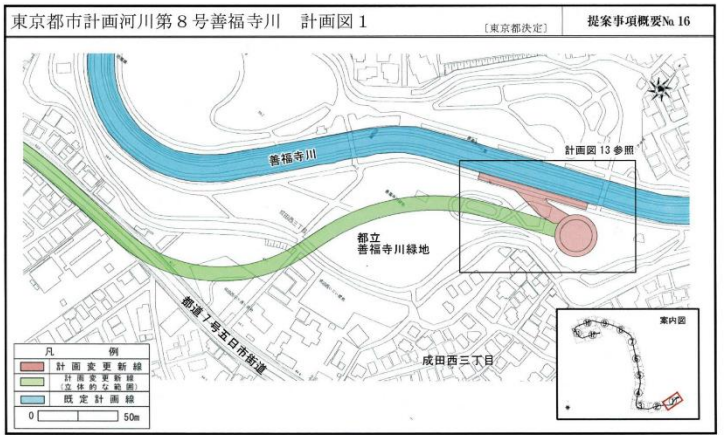
関根文化公園では公園の東側半分程度が使用できなくなる。この地域は、子どもが活発に遊べる公園等が少なく、放課後、大勢の小学生が集まる貴重な居場所になっている。

住民の憩い場としての公園が無くなる

ロケット公園とセンター広場があり、子どもから高齢者までの多くの住民がつどい、いこいの場となっている。広々とした地域にプラタナスの木々が立ち並び、地域住民には、なくてはならない公園になっている。



第244回都市計画審議会資料より。



第244回都市計画審議会資料より。

当初の素案説明会計画図（下）と都市計画審議会に提案される図案（上）は計画図の形が異なっています。公園半分が使用できない現状に変更はありません。

